

平成25年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493400194	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター横浜瀬谷		
所在地	(〒246-0015) 神奈川県横浜市瀬谷区本郷3-36-5		
18サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		エット数	2エット
自己評価作成日	平成25年11月28日	評価結果 市町村受理日	平成26年4月7日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpJDetails.aspx?JGNO=ST1493400194&amp;SVCD=320&amp;THNO=14100">http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpJDetails.aspx?JGNO=ST1493400194&amp;SVCD=320&amp;THNO=14100</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>入居者、ご家族、地域、スタッフがそれぞれ心地よく過せる空間を目指しています。生存するだけでなく生活する場所を目指しています。</p>
---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年12月10日	評価機関 評価決定日	平成26年3月20日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p><b>【事業所の概要】</b> この事業所は、相鉄線瀬谷駅から徒歩15分の住宅地の一角に立地する。横浜市の西端にあり、大和市と境川を挟んで隣接している。周辺には公園や広場、由緒ある神社や寺院が散在し、緑に囲まれた古き良き村落がそばにある、新興住宅地である。 建物は2階建て、車イス対応のエレベーターが設置されている。廊下は車イスがすれ違うことができる横幅があり、全体にゆったり設計されている。リビングの掃き出し窓は広く採光が充分で明るい。ウッドデッキでは日光浴や外気浴を楽しんでいる。すぐ前の菜園や花壇のある広い庭に降りられる。菜園は広くボランティア3人に利用者も加わり、大根、白菜、ほうれん草、さつまいもなど多種類の野菜を育成、収穫している。収穫物を食卓に乗せ、余ると近隣住民におすそわけすることもある。</p> <p><b>【利用者、家族との近い関係を指向】</b> 家族には毎月、利用者のその月の暮らしぶりや参加した行事の様子および協力医の往診結果、看護師の健康管理状況などを丁寧な報告している。また普段、来訪の少ない家族にはアンケート用紙を同封して、事業所に対する意見や要望および利用者に対する心配事、ケアに対する思いなどを記入していただいて、返送してもらっている。寄せられた意見等はミーティングで検討して事業所運営や利用者のケアに反映している。 利用者とはなるべく家族同様の、距離の近い関係を築けるように職員同士で話し合い、知恵を出し合い努力している。</p> <p><b>【医療連携体制の充実】</b> 協力医（内科）は隔週で月2回往診に来るほかに、体調不良時にはその都度往診依頼に対応してくれる。訪問看護師は毎週、健康管理、健康相談に来訪し、24時間連絡可能である。医療連携体制加算を受けている。歯科医、歯科衛生士が毎週来訪し、治療と口腔ケアを実施している。医療保険による訪問マッサージも、週2回施術に来ている。医療面は総じて充実している。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター横浜瀬谷
ユニット名	あじさい

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は玄関に掲示し公表している。また企業としての社是、経営理念を事務所に掲示し共有している。朝礼や全体会議で周知し、実践している。	法人の社是、経営理念と事業所のホーム理念およびケア理念を玄関に掲示して周知している。4月の全体会議で職員に話し、日々のサービスに反映させている。	事業所のホーム理念およびケア理念には作成した管理者の思いが沢山盛り込まれています。表現方法等を工夫し、更に職員に広く浸透していくことが期待されます。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入している。自治会の会議や清掃、子供会の廃品回収への協力、小学校や保育園と交流をしている。	自治会に加入してお祭りや地域清掃に利用者也参加している。区の敬老会にも出席している。事業所の七夕、節分等に小学生が来て交流している。菜園ではボランティアが、利用者と一緒に作業している。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会の会合や運営推進会議の際にGHの状況や認知症についてお話をさせていただいている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1度開催している。ご意見を伺い、GHの状況や今後の運営について報告させていただき、地域に根ざした運営が出来るよう努めている。	運営推進会議を今年度は年4回開催の予定である。地域包括支援センター職員、自治会長、副会長、民生委員、家族が参加している。活動報告および地域情報、地域柄の水害対策等の意見交換をしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者から日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	講習会や研修などでお話できる機会には運営状況などお話をさせていただいている。	運営推進会議の議事録の提出時や講習会参加時に、区役所担当者に近況報告をしている。瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に加入して情報交換をしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	4月に全職員を対象に研修を行い、各職員に意識付けをした。ケア実践の際には研修したことを再度振り返り日々取り組むよう指導している。	身体拘束防止マニュアルを基にして全体会議で年1回研修を実施している。身体拘束防止委員会で話し合っている。玄関と2階ユニット入口は、日中は開放している。1階ユニット入口は施錠しているが、外に出たい人がいれば都度、開錠している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様に研修を行い、各職員への意識付けを行った。ケア実践の際には研修したことを再度振り返り日々取り組むよう指導している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	情報はあがるが、学ぶ機会があまりない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定の際には契約書、重要事項説明書に基づいて説明させていただき、御不安や疑問の残らないよう対応させていただいている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、ご面会の際にお話させていただき、御要望や御意見を頂いている。	運営推進会議や家族の来訪時に意見、要望を聞いている。来訪が少ない家族には、毎月送付する状況報告書にアンケート用紙を同封して、意見要望を聞いている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や申し送り、全体会議などで職員が全員発言できるようにしている。また毎日の業務の中でも管理者に声を掛けやすい雰囲気にも努めている。	全体会議や申し送り時に職員の意見、提案を聞く機会を設けている。内容は利用者へのケアの方法、備品購入、職員増員要望などが多い。職員との個人面談は、雇用条件変更時または、キャリアアップ制度では年2回行っている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談やキャリアアップ、個々の目標設定等で自己啓発や資格取得、やりがいをもち勤務できるよう努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報提供や社内研修の参加を促している。毎日の業務の中でも介護技術の指導を実施している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修参加や地域交流などでの活動の情報を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを基に生活暦を把握し担当スタッフが主になり関係づくりに努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	毎月担当者が作成した状況報告書をご家族に郵送し、現況をお知らせすると共にご希望等をホーム長が伺っている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを基にホーム長、ユニットリーダー、スタッフ、ケアマネ、訪問医、看護師、歯科医、マッサージ師までも巻き込んでカンファレンスを行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場である事を踏まえ、それぞれの生活暦、価値観に応じスタッフが入居者同士の関係を築ける様支援している。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の生活の中で無理なく協力頂ける範囲を見極め、共に本人を支えて頂ける様、関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	アルバムや日記、家族の話から過去の思い出に折に触れている。	家族からの電話を取り次いでいる。墓参や外食には家族の支援で出かけている。敷地内の菜園で、実家が農家だった利用者から職員がクワでの芋掘りを教わっている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが気配りを心がけ生活全般に於いて入居者同士の関係を築ける様支援している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族サービス利用（契約）が終了の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も御家族が来苑し馴染みの入居者様と歓談頂ける関係継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っていますが本人の意思を確認し無理強いはしておりません。	利用者の好きなこと嫌いなことは日々の生活支援の中で聞き取っている。意向の把握が難しい場合は、家族に確認したり、本人の表情や仕草から判断したりしている。意向などは職員間で話し合い、申し送り等で共有するようにしている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活をご家族の協力も頂いて子供の頃から入所直前まで出来るだけ鮮明に描きだしています。			
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	家事の手伝いなども単なる手伝いではなく生活暦を鑑みて主婦や主夫になって頂ける様に支援しております。			
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ホーム長、ユニットリーダー、スタッフ、ケアマネ、訪問医、看護師、歯科医、マッサージ師までも巻き込んだモニタリングとカンファレンスを行っています。	毎月カンファレンスで職員の情報、意見を聞いている。家族の要望、医療情報を入れて介護計画を作成している。3か月毎及び急変時にはその都度、計画を見直している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様別に担当者を設け毎月情報報告書を作成閲覧し、各スタッフの意思統一、介護計画作成に役立っている。			



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎月担当者が作成した状況報告書をご家族に郵送し、現況をお知らせすると共にホームに対するご希望等を伺っている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接した大きな畑を入居者と共に数名の地元ボランティアさんが管理して下さっている又運営推進会議には、近隣の住民も数名参加頂いている。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の意向を大切に、必要時には担当医が御家族にインフォームドコンセントを実施している。	全員が協力医（内科）の月2回の往診を受けている。歯科は毎週、訪問看護も毎週、健康管理に来訪している。訪問マッサージは週2回来ている。その他の科目は家族がつき添って受診し、医療情報は介護記録や管理日誌で共有している。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診時以外にも電話による指示、体調不良時の訪問診断等密接な支援がされている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医の協力を得、サマリーや日々のバイタル情報などを提供している、又入退院時の医療機関とのカンファレンスも御家族を交え必要時開催している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	「同意を頂いている重度化した場合の対応指針」に基づき、かかりつけ医、訪問看護師を交え本人・家族等と話し合いを行います。	入居時に「重度化対応指針」に沿って本人、家族に説明して同意を得ている。常時医療行為を要する場合は入院になると説明し、状況に応じて話し合いをする方針である。看取りの事例はない。	利用者の重度化に備えて、職員にターミナルケアに関する研修等を実施することが期待されます。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	本社のマニュアルに沿い緊急時や利用者の急変時に対応出来る様定期的訓練を全体会議時に行なっている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	行政の行う訓練の他、町内の火災訓練にも住民を交え参加している。 スプリングクラーを設置した。	避難訓練は年2回、消防署の立ち会いで夜間想定訓練も含めて実施している。出火場所を隠す「ブラインド型」訓練をしている。住民の参加はない。災害備蓄は3日分を用意している。	災害時に近隣住民の協力は不可欠ですので、避難訓練は平日の実施を土日に変更するなどして、参加を呼び掛けることも期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレや入浴はなるべく同姓介護対応をしている又個人名が記載されている書類のコピーは名前にスクランブルをかけている。	言葉づかいや接遇の研修は、法人の支店で採用時に行っている。気になる時は先輩職員がその場で注意している。居室にはノックして入り、トイレ誘導はさりげなく行っている。個人情報を含む書類は鍵付きの書庫に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話が苦手な方には幾つかの選択肢の中から選んで頂ける様なお声掛けをしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかなスケジュールの中、体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っていますが参加せずお部屋で過される方も多いです。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	生活暦を鑑みて会話の中からその人らしい身だしなみやおしゃれを探しだし、日々、又理美容の折に援助している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理も単なる手伝いではなく我が家で料理する様参加頂き、食事の前の嚙下体操でより美味しく召し上げられる。	配達されたレシピ付食材を職員が調理している。利用者は野菜切り、下膳、食器拭きなどを手伝っている。職員の検食はなく調理時に味見をしている。誕生日は寿司の出前を取っている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を有効に使い食べる量や水分量を把握し、不足分は、一人ひとりの状態や嗜好に応じた飲食を支援している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの他に、月4回の訪問歯科での口腔状態のチェック。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンをチェック表を有効に使い把握しトイレ誘導の回数、時間を工夫し自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表でパターンを把握して、声かけ誘導しトイレでの排泄を支援している。夜間はリハビリパンツを使用する方が多いが、自分でトイレに行く方もいる。必要時に下着のチェックをしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や繊維質摂取の他、慢性的便秘にはかかりつけ医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望を尊重し曜日や時間を一人ひとりの習慣に応じた支援をしている。	通常は週2回以上入れるように支援している。入浴を好まれない方には「明日は身体検査があるから」などと言って促している。浴室も脱衣場もエアコンで気温調節をしている。季節にはしょうぶ湯やゆず湯を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクに参加せずお部屋で過される方も多いですが妨げる様な事は無く、夜間の室内灯も個々の習慣に応じ工夫した明るさにしている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援はスタッフ同士確認しあいかかりつけ医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っていますが本人の意思を確認し無理強いはしておりません。家事の手伝いなども単なる手伝いではなく生活暦を鑑みて楽しんで頂ける様に支援しております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している	散歩や畑仕事での外出が主体です。又ご家族との外食機会も多いです。	天気のよい日は近くの公園や由緒ある寺院に散歩に出る。車イスの方も一緒に行く。広い敷地内の花壇や菜園、ウッドデッキで日光浴や外気浴をして気分転換を図っている。季節にはタクシーで遠方の公園に花見に出かける。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で預かっておりますが、今後は一人ひとりの希望や力に応じて工夫して参りたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りは日常的に支援をしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等は分かり易く表示し、テレビも好きな席で見れる様にしている。	リビングは窓が大きく採光が良くて明るい。廊下は広く車イスがすれ違える。ウッドデッキから境川が眺められ景観が良い。壁には利用者也参加して製作した大きな貼り絵やクリスマス装飾を飾り、季節感が味わえる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	スタッフが気配りを心がけ生活全般に於いて入居者同士の相性などを考慮した支援をしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	我が家で使い慣れた家具や飾り物、仏壇など、本人や家族と相談しながら、心地よく過ごせる様支援をしている。	居室にはエアコン、クローゼット、照明器具、カーテンが備付けられている。ベッド、チェスト、テレビ、仏壇など馴染みのものを配置し、ぬいぐるみや家族の写真に囲まれて気の休まる場所となっている。家族や職員が作った表札は個性的で分かりやすい。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	我が家での生活暦を鑑みその人らしい力（得意な事）を生かして頂ける環境作りを支援しております。		

事業所名	ニチケアセンター横浜瀬谷
ユニット名	ひまわり

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は玄関に掲示し公表している。また企業としての社是、経営理念を事務所に掲示し共有している。朝礼や全体会議で周知し、実践している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入している。自治会の会議や清掃、子供会の廃品回収への協力、小学校や保育園と交流をしている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	自治会の会合や運営推進会議の際にGHの状況や認知症についてお話させていただいている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1度開催している。ご意見を伺い、GHの状況や今後の運営について報告させていただき、地域に根ざした運営が出来るよう努めている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	講習会や研修などでお話できる機会には運営状況などお話をさせていただいている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	4月に全職員を対象に研修を行い、各職員に意識付けをした。ケア実践の際には研修したことを再度振り返り日々取り組むよう指導している。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	上記同様に研修を行い、各職員への意識付けを行った。ケア実践の際には研修したことを再度振り返り日々取り組むよう指導している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	情報はあがるが、学ぶ機会があまりない。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定の際には契約書、重要事項説明書に基づいて説明させていただき、御不安や疑問の残らないよう対応させていただいている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、ご面会の際にお話させていただき、御要望や御意見を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や申し送り、全体会議などで職員が全員発言できるようにしている。また毎日の業務の中でも管理者に声を掛けやすい雰囲気努めている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談やキャリアアップ、個々の目標設定等で自己啓発や資格取得、やりがいをもち勤務できるよう努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報提供や社内研修の参加を促している。毎日の業務の中でも介護技術の指導を実施している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	外部研修参加や地域交流などでの活動の情報を頂いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを基に生活暦を把握し担当スタッフが主になり関係づくりに努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	毎月担当者が作成した状況報告書をご家族に郵送し、現況をお知らせすると共にご希望等をホーム長が伺っている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを基にホーム長、ユニットリーダー、スタッフ、ケアマネ、訪問医、看護師、歯科医、マッサージ師までも巻き込んでカンファレンスを行っています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場である事を踏まえ、それぞれの生活暦、価値観に応じスタッフが入居者同士の関係を築ける様支援している。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の生活の中で無理なく協力頂ける範囲を見極め、共に本人を支えて頂ける様、関係を築いていっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	アルバムや日記、家族の話から過去の思い出に折に触れている。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが気配りを心がけ生活全般に於いて入居者同士の関係を築ける様支援している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族サービス利用（契約）が終了の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も御家族が来苑し馴染みの入居者様と歓談頂ける関係継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っています が本人の意思を確認し無理強い はしておりません。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、 これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活をご家族の協力も 頂いて子供の頃から入所直前ま で出来るだけ鮮明に描きだして います。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等 の現状の把握に努めている	家事の手伝いなども単なる手伝 いでは無く生活暦を鑑みて主婦、 や主夫になって頂ける様に 支援しております。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方につ いて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞ れの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を 作成している	ホーム長、ユニットリーダー、 スタッフ、ケアマネ、訪問医、 看護師、歯科医、マッサージ師 までも巻き込んだのモニタリン グとカンファレンスを行っています。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別 記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護 計画の見直しに活かしている	お客様別に担当者を設け毎月情 況報告書を作成閲覧し、各スタ ッフの意思統一、介護計画作成 に役立てている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	毎月担当者が作成した状況報告書をご家族に郵送し、現況をお知らせすると共にホームに対するご希望等を伺っている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接した大きな畑を入居者と共に数名の地元ボランティアさんが管理して下さっている又運営推進会議には、近隣の住民も数名参加頂いている。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の意向を大切に、必要時には担当医が御家族にインフォームドコンセントを実施している。		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	受診時以外にも電話による指示、体調不良時の訪問診断等密接な支援がされている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医の協力を得、サマリーや日々のバイタル情報などを提供している、又入退院時の医療機関とのカンファレンスも御家族を交え必要時開催している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援            重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>「同意を頂いている重度化した場合の対応指針」に基づき、かかりつけ医、訪問看護師を交え本人・家族等と話し合いを行います。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え            利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>本社のマニュアルに沿い緊急時や利用者の急変時に対応出来る様定期的訓練を全体会議時に行なっている。</p>		
35	13	<p>災害対策            火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>行政の行う訓練の他、町内の火災訓練にも住民を交え参加している。            スプリングクラーを設置した。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレや入浴はなるべく同姓介護対応をしている又個人名が記載されている書類のコピーは名前にスクランブルをかけている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話が苦手な方には幾つかの選択肢の中から選んで頂ける様なお声掛けをしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかなスケジュールの中、体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っていますが参加せずお部屋で過される方も多いです。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	生活暦を鑑みて会話の中からその人らしい身だしなみやおしゃれを探しだし、日々、又理美容の折に援助している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理も単なる手伝いではなく我が家で料理する様参加頂き、食事の前の嚥下体操でより美味しく召し上がれる。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を有効に使い食べる量や水分量を把握し、不足分は、一人ひとりの状態や嗜好に応じた飲食を支援している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの他に、月4回の訪問歯科での口腔状態のチェック。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のパターンをチェック表を有効に使い把握しトイレ誘導の回数、時間を工夫し自立に向けた支援を行っている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や繊維質摂取の他、慢性的便秘にはかかりつけ医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望を尊重し曜日や時間を一人ひとりの習慣に応じた支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	レクに参加せずお部屋で過ごされる方も多いですが妨げる様な事は無く、夜間の室内灯も個々の習慣に応じ工夫した明るさにしている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の支援はスタッフ同士確認しあいかかりつけ医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	体操、レクリエーション、畑仕事、カラオケ等を行っていますが本人の意思を確認し無理強いはしていません。家事の手伝いなども単なる手伝いではなく生活暦を鑑みて楽しんで頂ける様に支援しております。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や畑仕事での外出が主体です。又ご家族との外食機会も多いです。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で預かっておりますが、今後は一人ひとりの希望や力に応じて工夫して参りたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話や手紙のやり取りは日常的に支援をしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等は分かり易く表示し、テレビも好きな席で見れる様にしている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	スタッフが気配りを心がけ生活全般に於いて入居者同士の相性などを考慮した支援をしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	我が家で使い慣れた家具や飾り物、仏壇など、本人や家族と相談しながら、心地よく過ごせる様支援をしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	我が家での生活暦を鑑みその人らしい力（得意な事）を生かして頂ける環境作りを支援しております。		

目標達成計画

事業所名 ニクアセンタ-横浜瀬谷

作成日 26年3月22日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所ホム理念、ケア理念の表現方法を工夫し職場に広く浸透させる事。	ホム理念、ケア理念をよりリアルなものとしてスタッフに浸透させるものとする。	新しく理念をかかげた後は、朝令研修時に伝え、浸透させた。	1年。
2		避難訓練への近隣住民の参加を呼び掛ける為、工日の開催を検討する。	避難訓練に近隣住民が参加する。	避難訓練を土日に開催し、広く参加を呼びかけた。	6ヶ月。
3		利用者の重度化に備え、ターミナルケアに関する研修を実施する。	管理者、スタッフ一斉にターミナルケアに関する理解を得る。	ターミナルケアについて、は管理者自身も学ぶ事、研修に参加する事は外部より講師を紹介。	1年。
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。